

花粉症対策グッズ続々

わさび、乳酸菌食品 効果上々

花粉症患者にとって嫌な季節がやってきた。花粉症の国内での患者は年々増加し、その数は現在、約200万人とも試算されている。花粉症の苦しみを少しでも和らげようと、各社とも花粉症関連商品の開発に知恵を絞っている。

花粉症にはわさびが効く。こう訴えているのが、粉わさびや練りわさびの老舗メーカーの金印（名古屋市中川区）だ。これまで名古屋大学や静岡大学、お茶の水女子大学など複数の大学との産学連携の研究で花粉症の症状を和らげる効果があるこ

とをつぎとめた。

過去2年以上花粉症と診断された40人に、鼻水の症状がひどい時に本わさびの香り成分「6-メチルチオヘキシルイソチオシアネート」を10秒間かがせることを1週間続けた結果、鼻をかんだり、鼻が詰まったりすることが減少するなど改善効果が表れたという。

2008年1月から本わさびの香り成分を配合した商品を「ワサビチオヘキシル（TM）」シリーズとして商品化している。部屋用スプレー（1800円）やマスク用スプレー（1200円）、リッ

プクリーム（1200円）、のどあめ（350円）の4種類を販売した。最も人気があるのはマスク用スプレーで、症状がひどい時にかけているマスクにスプレーすると効果があるという。

同社では売り上げは公表していないが「利用者から花粉症の症状が和らいだとの声もいただいている」と反響は上々のようだ。

利用者の要望に応えるため、今シーズンは新たに保湿クリーム（1200円）とグミ（450円）を商品ラインアップに追加した。今後、積極的にPRし、取

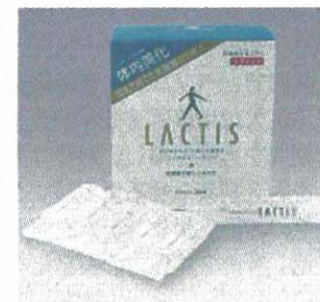
益の柱に育てる考えだ。

乳酸菌を花粉症対策に、という商品もお目見えした。乳酸菌を使った健康食品などの製造、販売を手掛けるビーアンドエス・コーポレーション（東京都千代田区）は、乳酸菌と豆乳で作ったサプリメント「ラクティス」（300リットル、8925円）を販売している。

免疫細胞の「Th1」と「Th2」。この2種類の免疫細胞



のバランスが崩れると花粉症をはじめとするアレルギーを引き起こすとされ、花粉症の症状を和らげるには、この免疫バランスを改善する必要がある。ラクティスの主成分の乳酸菌生成エキスには、免疫バランスを整える効果があるという。



花粉症対策に期待される金印の「ワサビチオヘキシル（TM）」シリーズとビーアンドエス・コーポレーションの「ラクティス」



三国ワイン 仏コニャック販売

一目で分かる熟成度・特徴

ワイン輸入販売の三国ワイン（東京都中央区）は、熟成段階の特徴をあらわすため、商品名と熟成年数をラベルに冠した珍しいフランスのコニャック「レオポルド・グルメル」＝写真＝の販売を始めた。

コニャックは、たるによる熟成度合いによって、「VSO

のが一般的だが、レオポルド・グルメルは初心者にも分かりやすい表示にしている。

三国ワインが扱うのは、6年熟成「プルミエール・サザール（はじめての味わい）」▷10年熟成「アージュ・デュ・フリュイ（フルーティー）」▷15年熟成「アージュ・デュ・フルール

「アージュ・デ・ゼピス（スパイシー）」▷30年熟成「カンテサンス（究極のコニャック）」など6種類。参考小売価格は5800～5万6000円。

高級レストランや百貨店などで販売する。

レオポルド・グルメルは1961年に蒸留をスタートし、72年からボトリングを始めたコニャック業界の新顔。「19世紀から変化のないコニャックの世界を変える」ことを目標にしていると